

# 令和6年度 学校評価〈集計結果〉(前期)

令和6年12月実施

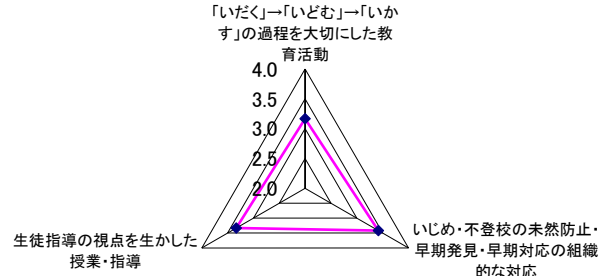
小郡市立小郡中学校(教職員)

## 1. 未来に向かう「心」の育成

大項目評価	<b>3.31</b>	<b>B</b>	
小項目評価	「いだく」→「いどむ」→「いかす」の過程を大切にした教育活動	いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応の組織的な対応	生徒指導の視点を生かした授業・指導
	3.17	3.42	3.33
	B	B	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

## 1. 未来に向かう「心」の育成

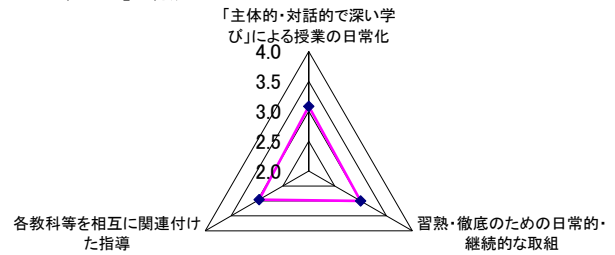


## 2. 生きて働く「知」の育成

大項目評価	<b>3.01</b>	<b>B</b>	
小項目評価	「主体的・対話的で深い学び」による授業の日常化	習熟・徹底のための日常的・継続的な取組	各教科等を相互に関連付けた指導
	3.08	3.00	2.96
	B	B	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

## 2. 生きて働く「知」の育成

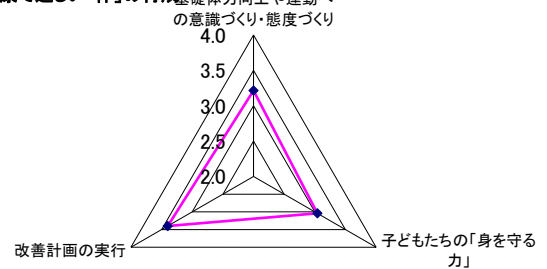


## 3. 健康で逞しい「体」の育成

大項目評価	<b>3.19</b>	<b>B</b>	
小項目評価	基礎体力向上や運動への意識づくり・態度づくり	子どもたちの「身を守る力」	改善計画の実行
	3.21	3.04	3.40
	B	B	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

## 3. 健康で逞しい「体」の育成

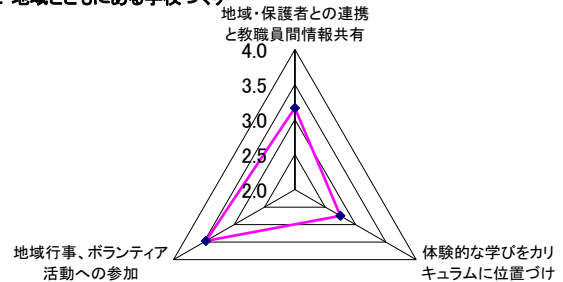


## 4. 地域とともにある学校づくり

大項目評価	<b>3.08</b>	<b>B</b>	
小項目評価	地域・保護者との連携と教職員間情報共有	体験的な学びをカリキュラムに位置づけ	地域行事、ボランティア活動への参加
	3.17	2.75	3.47
	B	B	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

## 4. 地域とともにある学校づくり

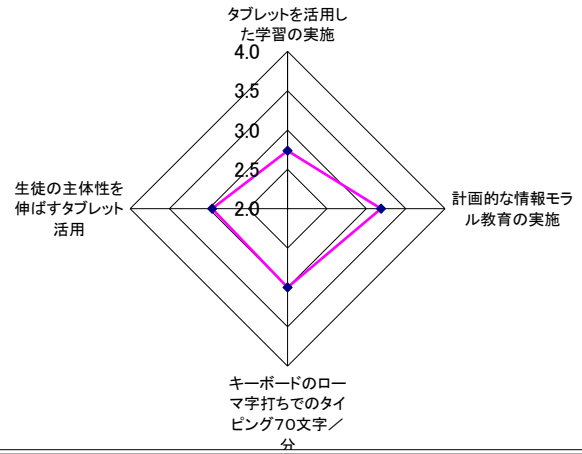


### 5. ICT活用力の育成

大項目評価	<b>2.95</b>	<b>B</b>		
小項目評価	タブレットを活用した学習の実施	計画的な情報モラル教育の実施	キーボードのローマ字打ちでのタイピング70文字/分	生徒の主体性を伸ばすタブレット活用
	2.74	3.19	<b>3.00</b>	2.96
	B	B	B	B

4 ≧ A > 3. 5 ≧ B > 2. 5 ≧ C > 1. 5 ≧ D

### 5. ICT活用力の育成

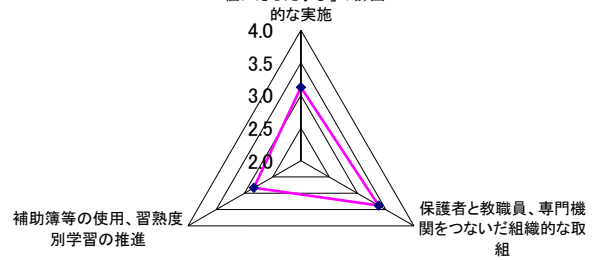


### 6. 個に応じた学びの充実

大項目評価	<b>3.04</b>	<b>B</b>	
小項目評価	「個に応じた学び」の計画的な実施	保護者と教職員、専門機関をつないだ組織的な取組	補助簿等の使用、習熟度別学習の推進
	3.13	3.38	2.83
	B	B	B

4 ≧ A > 3. 5 ≧ B > 2. 5 ≧ C > 1. 5 ≧ D

### 6. 個に応じた学びの充実 「個に応じた学び」の計画的な実施

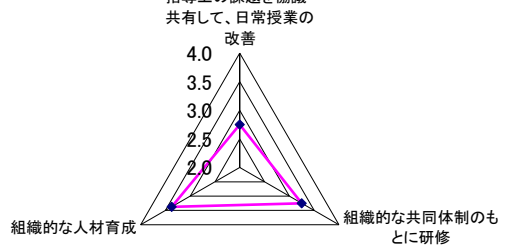


### 7. 教職員の資質向上の推進

大項目評価	<b>3.09</b>	<b>B</b>	
小項目評価	指導上の課題を協議・共有して、日常授業の改善	組織的な共同体制のもとに研修	組織的な人材育成
	2.75	3.25	3.38
	B	B	B

4 ≧ A > 3. 5 ≧ B > 2. 5 ≧ C > 1. 5 ≧ D

### 7. 教職員の資質向上の推進 指導上の課題を協議・共有して、日常授業の改善

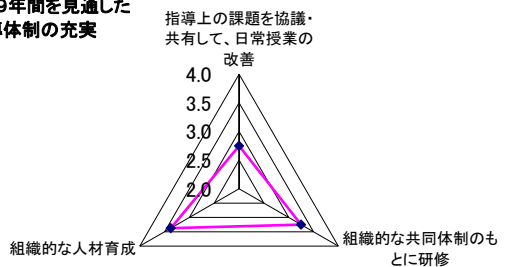


### 8. 小中9年間を見通した指導体制の充実

大項目評価	<b>3.07</b>	<b>B</b>	
小項目評価	小中で共通理解し、統一した授業改善や生徒指導	小学校での学習・生活の状況を踏まえた指導の工夫	中1ギャップの解消
	2.96	3.05	3.21
	B	B	B

4 ≧ A > 3. 5 ≧ B > 2. 5 ≧ C > 1. 5 ≧ D

### 8. 小中9年間を見通した指導体制の充実

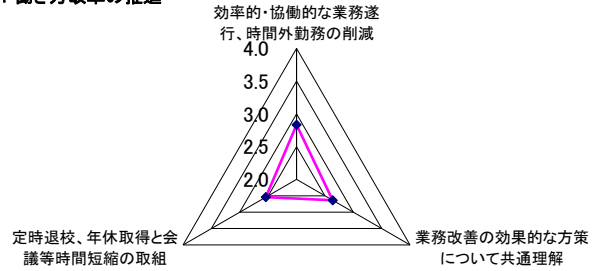


### 9. 働き方改革の推進

大項目評価	<b>2.68</b>	<b>B</b>	
小項目評価	効率的・協働的な業務遂行、時間外勤務の削減	業務改善の効果的な方策について共通理解	定時退校、年休取得と会議等時間短縮の取組
	2.83	2.64	2.54
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

### 9. 働き方改革の推進

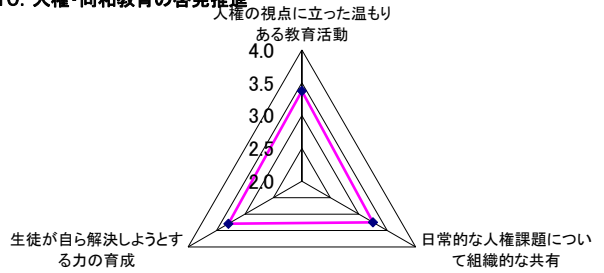


### 10. 人権・同和教育の啓発推進

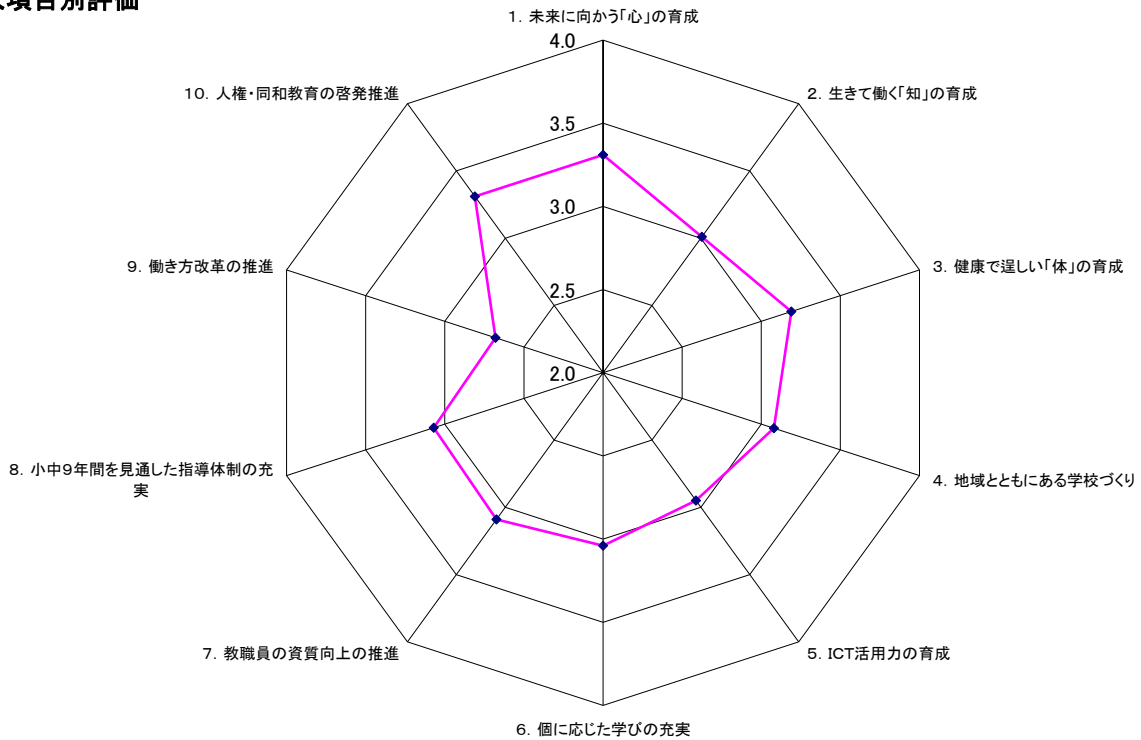
大項目評価	<b>3.31</b>	<b>B</b>	
小項目評価	人権の視点に立った温もりある教育活動	日常的な人権課題について組織的な共有	生徒が自ら解決しようとする力の育成
	3.38	3.25	3.29
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

### 10. 人権・同和教育の啓発推進



## 大項目別評価



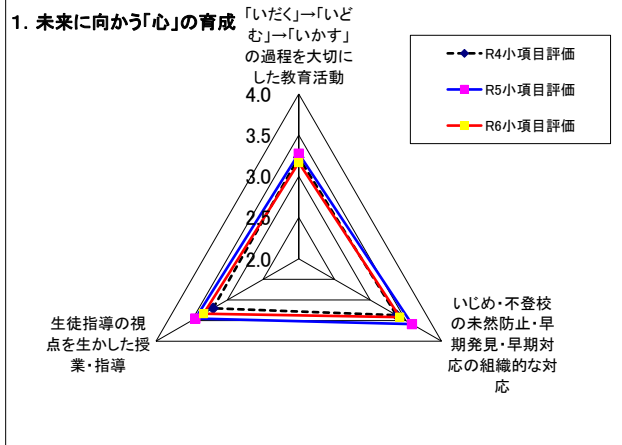
1. 未来に向かう「心」の育成

	「いだく」→「いどむ」→「いかす」の過程を大切に した教育活動	いじめ・不登校の未然防 止・早期発見・早期対応 の組織的な対応	生徒指導の視点を生か した授業・指導
R4小項目評価	3.23	3.37	3.20
R5小項目評価	3.28	3.59	3.45
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.17</b>	<b>3.42</b>	<b>3.33</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	3.28	3.44	<b>3.31</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

1. 未来に向かう「心」の育成



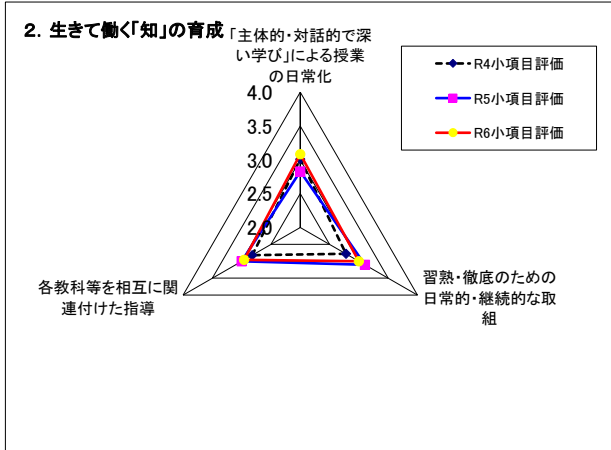
2. 生きて働く「知」の育成

	「主体的・対話的で深い 学び」による授業の日常 化	習熟・徹底のための日常 的・継続的な取組	各教科等を相互に関連 付けた指導
R4小項目評価	3.01	2.78	2.82
R5小項目評価	2.83	3.10	3.00
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.08</b>	<b>3.00</b>	<b>2.96</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.85	2.98	<b>3.01</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

2. 生きて働く「知」の育成



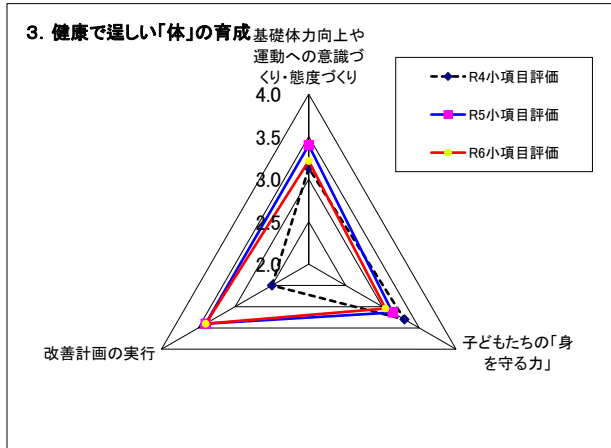
3. 健康で逞しい「体」の育成

	基礎体力向上や運 動への意識づくり・ 態度づくり	子どもたちの「身 を守る力」	改善計画の実行
R4小項目評価	3.13	3.30	2.50
R5小項目評価	3.40	3.14	3.40
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.21</b>	<b>3.04</b>	<b>3.40</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	3.21	3.31	<b>3.19</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

3. 健康で逞しい「体」の育成



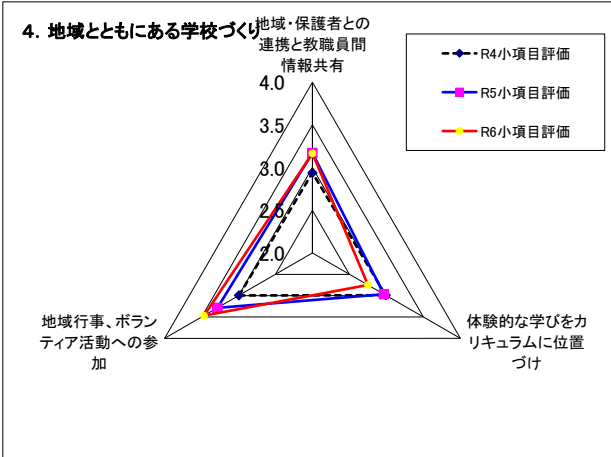
4. 地域とともにある学校づくり

	地域・保護者との連携と 教職員間情報共有	体験的な学びをカリキ ュラムに位置づけ	地域行事、ボランティア 活動への参加
R4小項目評価	2.94	2.99	2.99
R5小項目評価	3.17	2.97	3.29
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.17</b>	<b>2.75</b>	<b>3.47</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.99	3.14	<b>3.08</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

4. 地域とともにある学校づくり

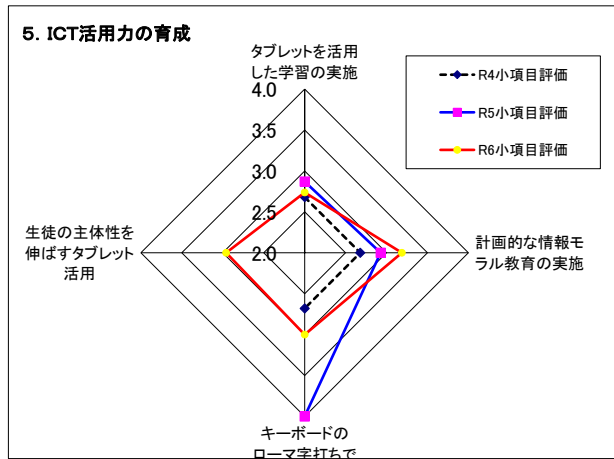


### 5. ICT活用力の育成

	タブレットを活用した学習の実施	計画的な情報モラル教育の実施	キーボードのローマ字打ちでのタイピング70文字/分	生徒の主体性を伸ばすタブレット活用
R4小項目評価	2.68	2.68	2.68	
R5小項目評価	2.87	2.93	4.00	
<b>R6小項目評価</b>	<b>2.74</b>	<b>3.19</b>	<b>3.00</b>	<b>2.96</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.68	3.17	<b>2.95</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

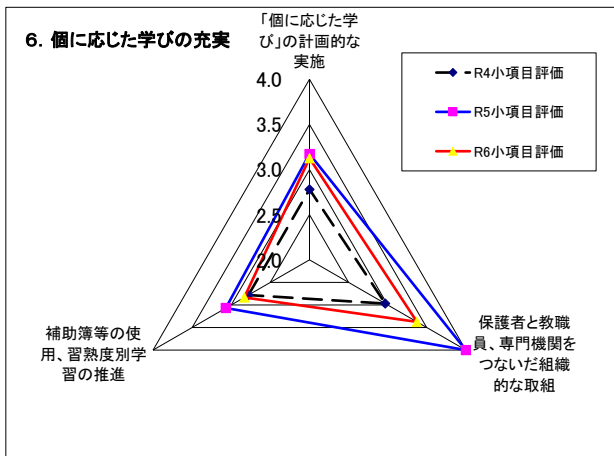


### 6. 個に応じた学びの充実

	「個に応じた学び」の計画的な実施	保護者と教職員、専門機関をつないだ組織的な取組	補助簿等の使用、習熟度別学習の推進
R4小項目評価	2.78	2.97	2.78
R5小項目評価	3.17	4.00	3.07
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.13</b>	<b>3.38</b>	<b>2.83</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.78	3.41	<b>3.04</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

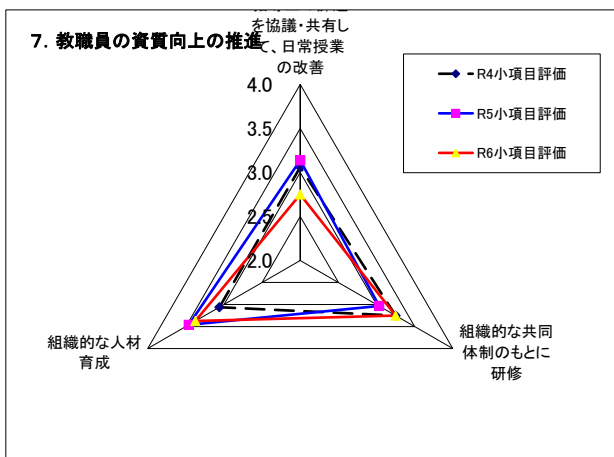


### 7. 教職員の資質向上の推進

	指導上の課題を協議・共有して、日常授業の改善	組織的な共同体制のもとに研修	組織的な人材育成
R4小項目評価	3.06	3.25	3.06
R5小項目評価	3.14	3.03	3.46
<b>R6小項目評価</b>	<b>2.75</b>	<b>3.25</b>	<b>3.38</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	3.18	3.21	<b>3.09</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

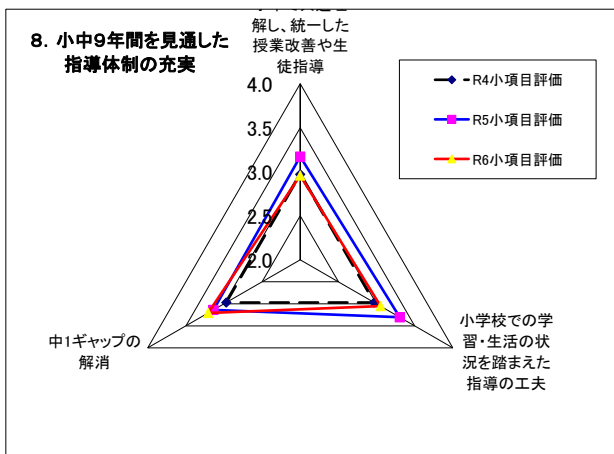


### 8. 小中9年間を見通した指導体制の充実

	小中で共通理解し、統一した授業改善や生徒指導	小学校での学習・生活の状況を踏まえた指導の工夫	中1ギャップの解消
R4小項目評価	2.97	2.97	2.97
R5小項目評価	3.17	3.30	3.14
<b>R6小項目評価</b>	<b>2.96</b>	<b>3.05</b>	<b>3.21</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.97	3.20	<b>3.07</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

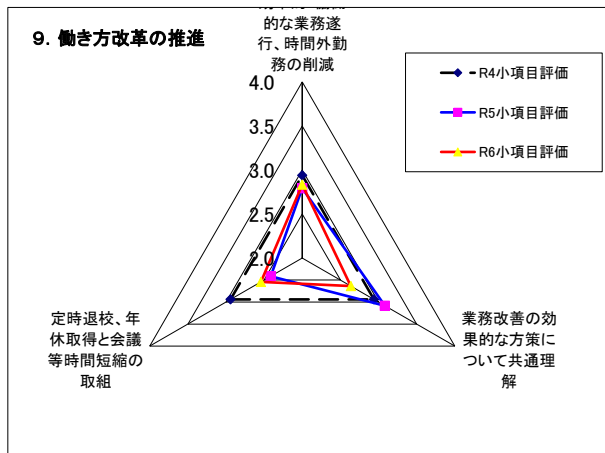


### 9. 働き方改革の推進

	効率的・協働的な業務遂行、時間外勤務の削減	業務改善の効果的な方策について共通理解	定時退校、年休取得と会議等時間短縮の取組
R4小項目評価	2.94	2.94	2.94
R5小項目評価	2.79	3.08	2.41
<b>R6小項目評価</b>	<b>2.83</b>	<b>2.84</b>	<b>2.54</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.94	2.76	<b>2.68</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

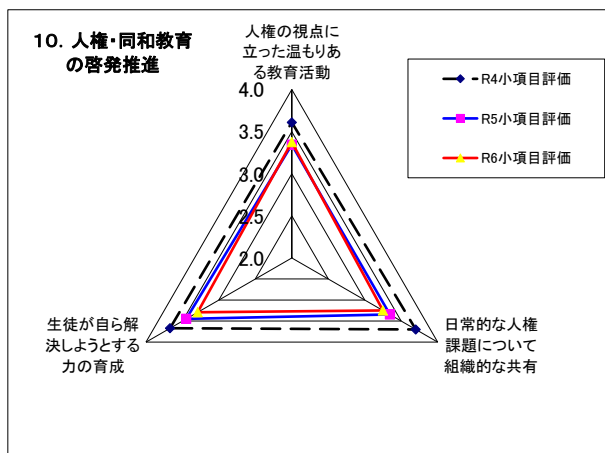


### 10. 人権・同和教育の啓発推進

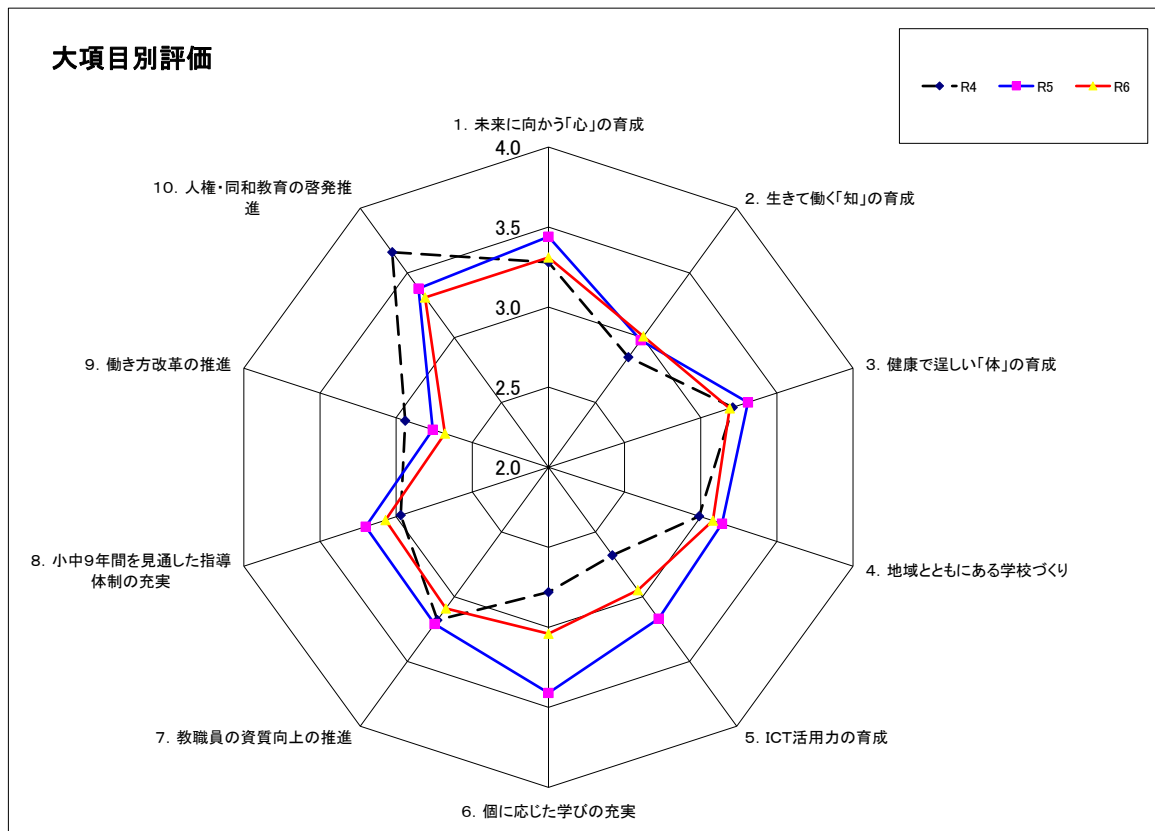
	人権の視点に立った温もりある教育活動	日常的な人権課題について組織的な共有	生徒が自ら解決しようとする力の育成
R4小項目評価	3.61	3.70	3.67
R5小項目評価	3.34	3.34	3.45
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.38</b>	<b>3.25</b>	<b>3.29</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	3.66	3.38	<b>3.31</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D



## 大項目別評価



# 令和6年度 学校評価〈集計結果〉(後期)

令和6年12月実施

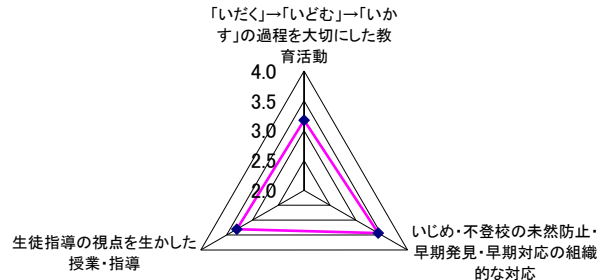
小郡市立小郡中学校(教職員)

## 1. 未来に向かう「心」の育成

大項目評価	<b>3.30</b>	<b>B</b>	
小項目評価	「いだく」→「いどむ」→「いかす」の過程を大切にした教育活動	いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応の組織的な対応	生徒指導の視点を生かした授業・指導
	3.17	3.43	3.30
	B	B	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

## 1. 未来に向かう「心」の育成

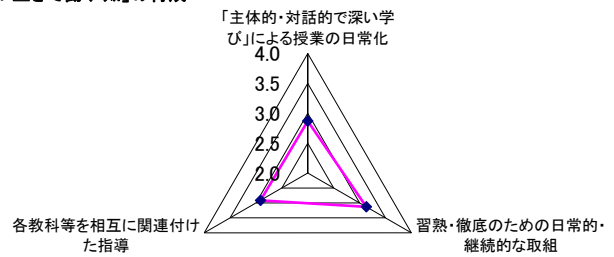


## 2. 生きて働く「知」の育成

大項目評価	<b>2.97</b>	<b>B</b>	
小項目評価	「主体的・対話的で深い学び」による授業の日常化	習熟・徹底のための日常的・継続的な取組	各教科等を相互に関連付けた指導
	2.87	3.13	2.91
	B	B	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

## 2. 生きて働く「知」の育成

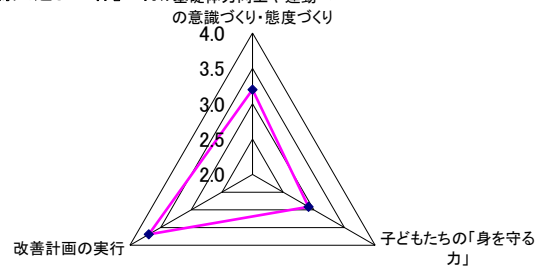


## 3. 健康で逞しい「体」の育成

大項目評価	<b>3.20</b>	<b>B</b>	
小項目評価	基礎体力向上や運動への意識づくり・態度づくり	子どもたちの「身を守る力」	改善計画の実行
	3.20	2.91	3.69
	B	B	A

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

## 3. 健康で逞しい「体」の育成

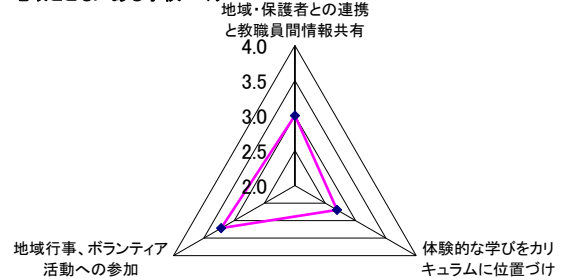


## 4. 地域とともにある学校づくり

大項目評価	<b>2.93</b>	<b>B</b>	
小項目評価	地域・保護者との連携と教職員間情報共有	体験的な学びをカリキュラムに位置づけ	地域行事、ボランティア活動への参加
	3.00	2.70	3.21
	B	B	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

## 4. 地域とともにある学校づくり

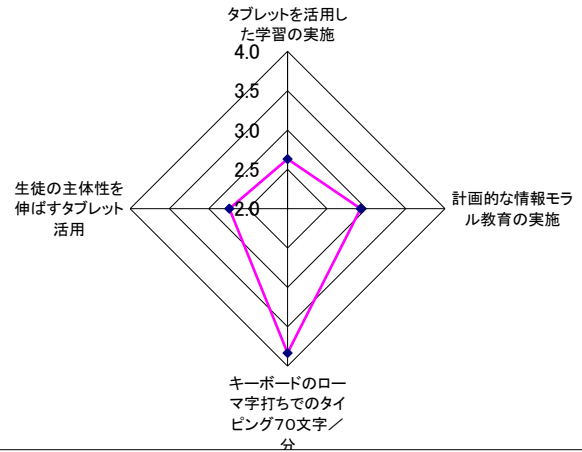


### 5. ICT活用力の育成

大項目評価	<b>2.85</b>	<b>B</b>		
小項目評価	タブレットを活用した学習の実施	計画的な情報モラル教育の実施	キーボードのローマ字打ちでのタイピング70文字/分	生徒の主体性を伸ばすタブレット活用
	2.63	2.93	<b>3.83</b>	2.74
	B	B	A	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

### 5. ICT活用力の育成

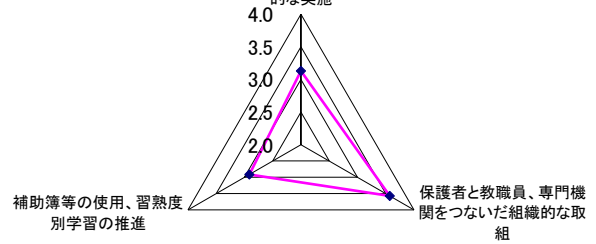


### 6. 個に応じた学びの充実

大項目評価	<b>3.09</b>	<b>B</b>	
小項目評価	「個に応じた学び」の計画的な実施	保護者と教職員、専門機関をつないだ組織的な取組	補助簿等の使用、習熟度別学習の推進
	3.13	3.57	2.91
	B	A	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

### 6. 個に応じた学びの充実 「個に応じた学び」の計画的な実施

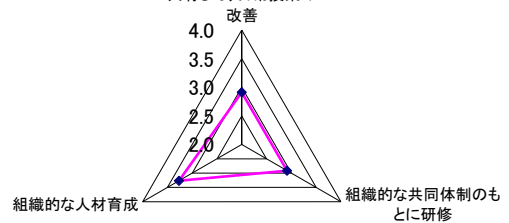


### 7. 教職員の資質向上の推進

大項目評価	<b>3.00</b>	<b>B</b>	
小項目評価	指導上の課題を協議・共有して、日常授業の改善	組織的な共同体制のもとに研修	組織的な人材育成
	2.91	2.91	3.27
	B	B	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

### 7. 教職員の資質向上の推進 指導上の課題を協議・共有して、日常授業の改善

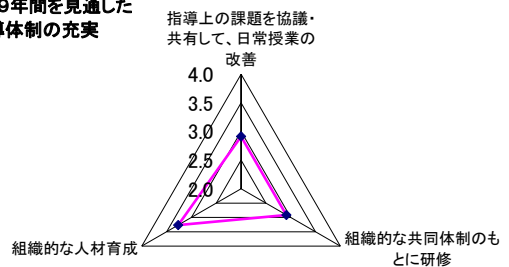


### 8. 小中9年間を見通した指導体制の充実

大項目評価	<b>3.02</b>	<b>B</b>	
小項目評価	小中で共通理解し、統一した授業改善や生徒指導	小学校での学習・生活の状況を踏まえた指導の工夫	中1ギャップの解消
	2.87	3.05	3.13
	B	B	B

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

### 8. 小中9年間を見通した指導体制の充実



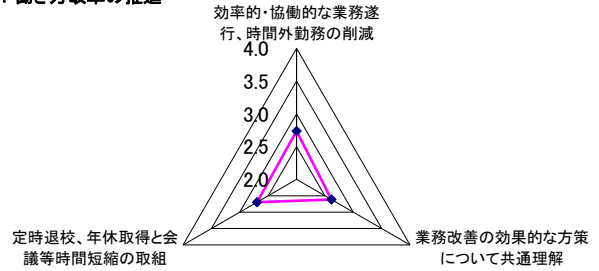


### 9. 働き方改革の推進

大項目評価	<b>2.69</b>	<b>B</b>	
小項目評価	効率的・協働的な業務遂行、時間外勤務の削減	業務改善の効果的な方策について共通理解	定時退校、年休取得と会議等時間短縮の取組
	2.74	2.62	2.70
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

### 9. 働き方改革の推進

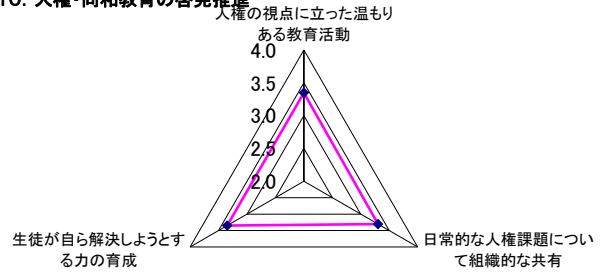


### 10. 人権・同和教育の啓発推進

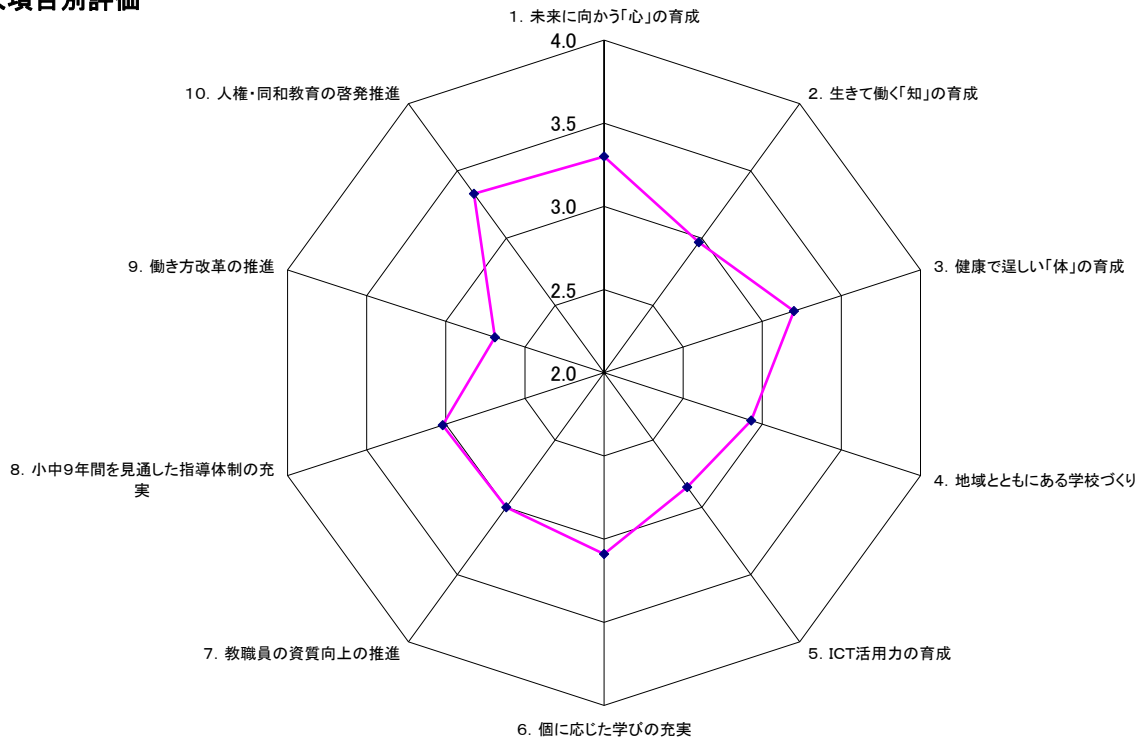
大項目評価	<b>3.33</b>	<b>B</b>	
小項目評価	人権の視点に立った温もりある教育活動	日常的な人権課題について組織的な共有	生徒が自ら解決しようとする力の育成
	3.35	3.30	3.35
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

### 10. 人権・同和教育の啓発推進



## 大項目別評価



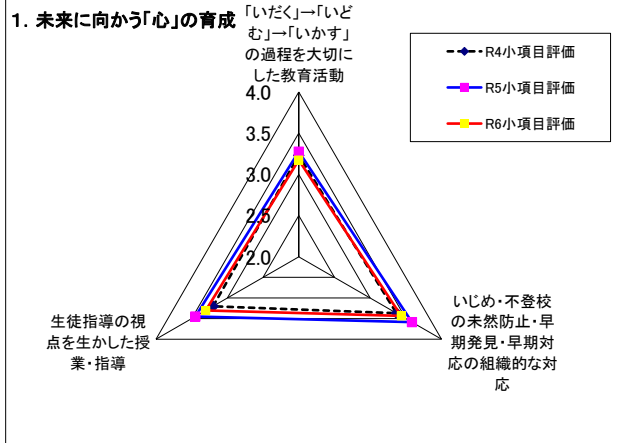
1. 未来に向かう「心」の育成

	「いだく」→「いどむ」→「いかす」の過程を大切に した教育活動	いじめ・不登校の未然防 止・早期発見・早期対応 の組織的な対応	生徒指導の視点を生か した授業・指導
R4小項目評価	3.23	3.37	3.20
R5小項目評価	3.28	3.59	3.45
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.17</b>	<b>3.43</b>	<b>3.30</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	3.28	3.44	<b>3.30</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

1. 未来に向かう「心」の育成



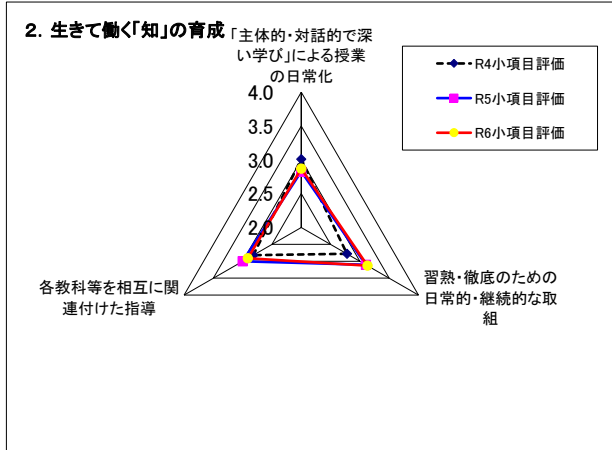
2. 生きて働く「知」の育成

	「主体的・対話的で深い学び」による授業の日常化	習熟・徹底のための日常的・継続的な取組	各教科等を相互に関連付けた指導
R4小項目評価	3.01	2.78	2.82
R5小項目評価	2.83	3.10	3.00
<b>R6小項目評価</b>	<b>2.87</b>	<b>3.13</b>	<b>2.91</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.85	2.98	<b>2.97</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

2. 生きて働く「知」の育成



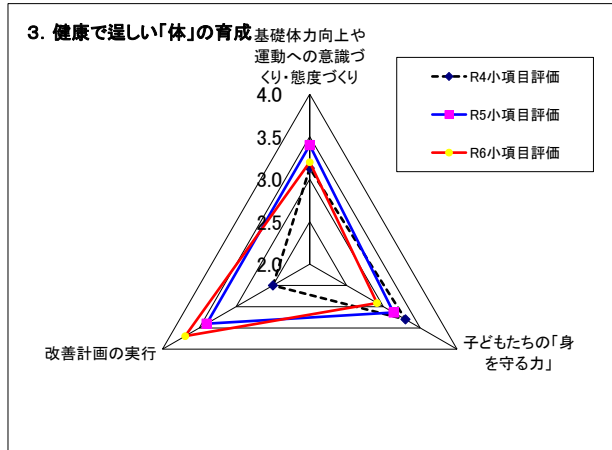
3. 健康で逞しい「体」の育成

	基礎体力向上や運動への意識づくり・態度づくり	子どもたちの「身を守る力」	改善計画の実行
R4小項目評価	3.13	3.30	2.50
R5小項目評価	3.40	3.14	3.40
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.20</b>	<b>2.91</b>	<b>3.69</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	3.21	3.31	<b>3.20</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

3. 健康で逞しい「体」の育成



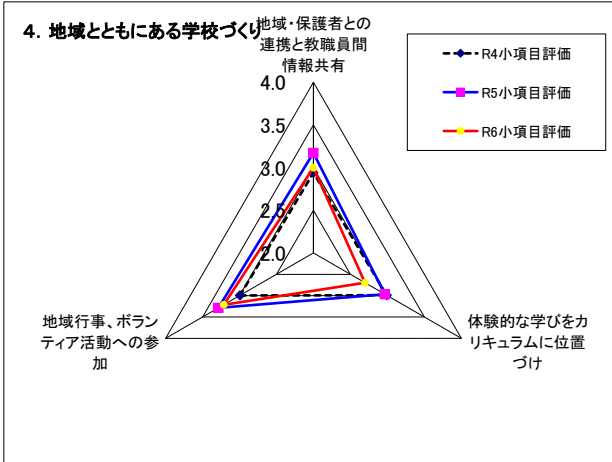
4. 地域とともにある学校づくり

	地域・保護者との連携と教職員間情報共有	体験的な学びをカリキュラムに位置づけ	地域行事、ボランティア活動への参加
R4小項目評価	2.94	2.99	2.99
R5小項目評価	3.17	2.97	3.29
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.00</b>	<b>2.70</b>	<b>3.21</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.99	3.14	<b>2.93</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

4. 地域とともにある学校づくり



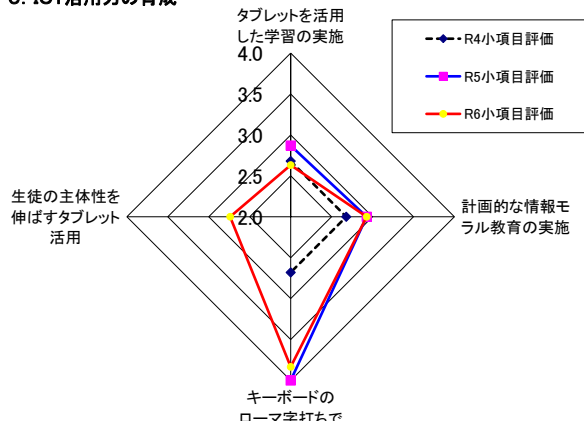
5. ICT活用力の育成

	タブレットを活用した学習の実施	計画的な情報モラル教育の実施	キーボードのローマ字打ちでのタイピング70文字/分	生徒の主体性を伸ばすタブレット活用
R4小項目評価	2.68	2.68	2.68	
R5小項目評価	2.87	2.93	4.00	
<b>R6小項目評価</b>	<b>2.63</b>	<b>2.93</b>	<b>3.83</b>	<b>2.74</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.68	3.17	<b>2.85</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

5. ICT活用力の育成



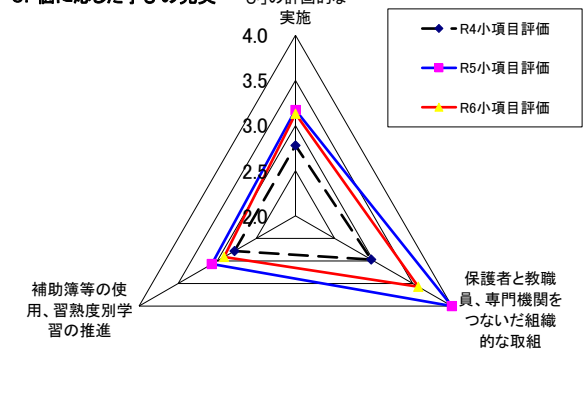
6. 個に応じた学びの充実

	「個に応じた学び」の計画的な実施	保護者と教職員、専門機関をつないだ組織的な取組	補助簿等の使用、習熟度別学習の推進
R4小項目評価	2.78	2.97	2.78
R5小項目評価	3.17	4.00	3.07
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.13</b>	<b>3.57</b>	<b>2.91</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.78	3.41	<b>3.09</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

6. 個に応じた学びの充実



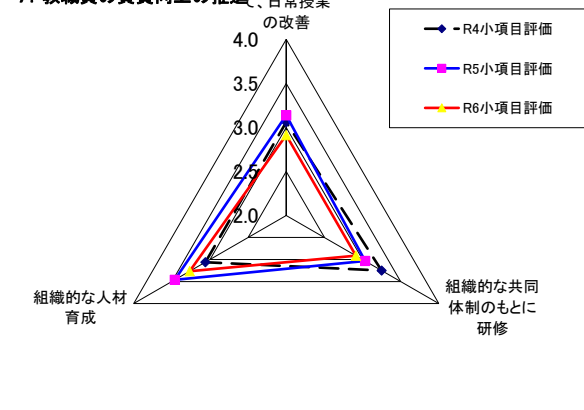
7. 教職員の資質向上の推進

	指導上の課題を協議・共有して、日常授業の改善	組織的な共同体制のもとに研修	組織的な人材育成
R4小項目評価	3.06	3.25	3.06
R5小項目評価	3.14	3.03	3.46
<b>R6小項目評価</b>	<b>2.91</b>	<b>2.91</b>	<b>3.27</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	3.18	3.21	<b>3.00</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

7. 教職員の資質向上の推進



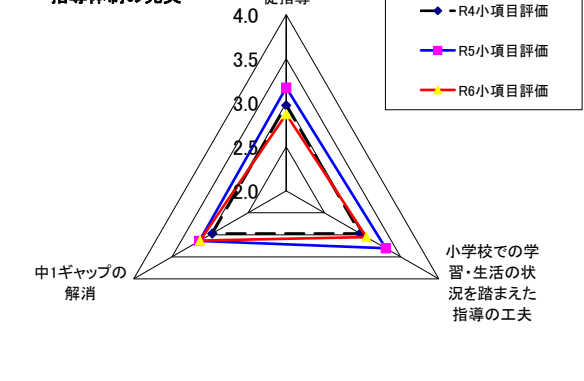
8. 小中9年間を見通した指導体制の充実

	小中で共通理解し、統一した授業改善や生徒指導	小学校での学習・生活の状況を踏まえた指導の工夫	中1ギャップの解消
R4小項目評価	2.97	2.97	2.97
R5小項目評価	3.17	3.30	3.14
<b>R6小項目評価</b>	<b>2.87</b>	<b>3.05</b>	<b>3.13</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.97	3.20	<b>3.02</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

8. 小中9年間を見通した指導体制の充実

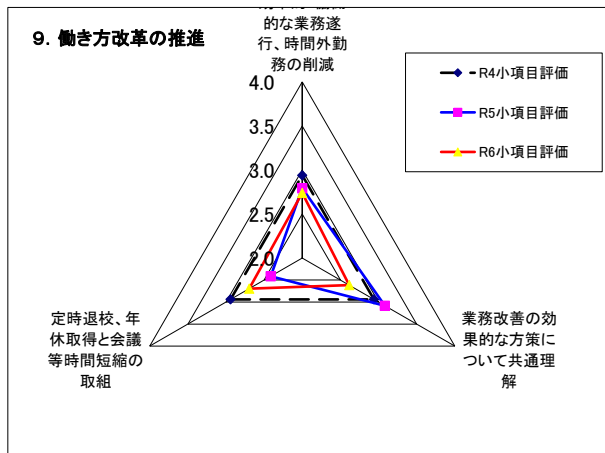


### 9. 働き方改革の推進

	効率的・協働的な業務遂行、時間外勤務の削減	業務改善の効果的な方策について共通理解	定時退校、年休取得と会議等時間短縮の取組
R4小項目評価	2.94	2.94	2.94
R5小項目評価	2.79	3.08	2.41
<b>R6小項目評価</b>	<b>2.74</b>	<b>2.62</b>	<b>2.70</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	2.94	2.76	<b>2.69</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D

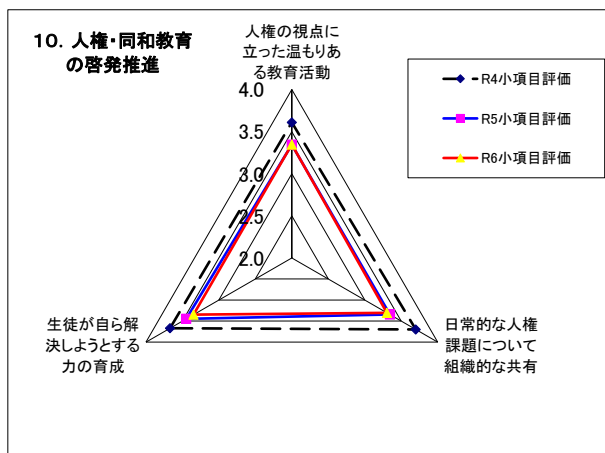


### 10. 人権・同和教育の啓発推進

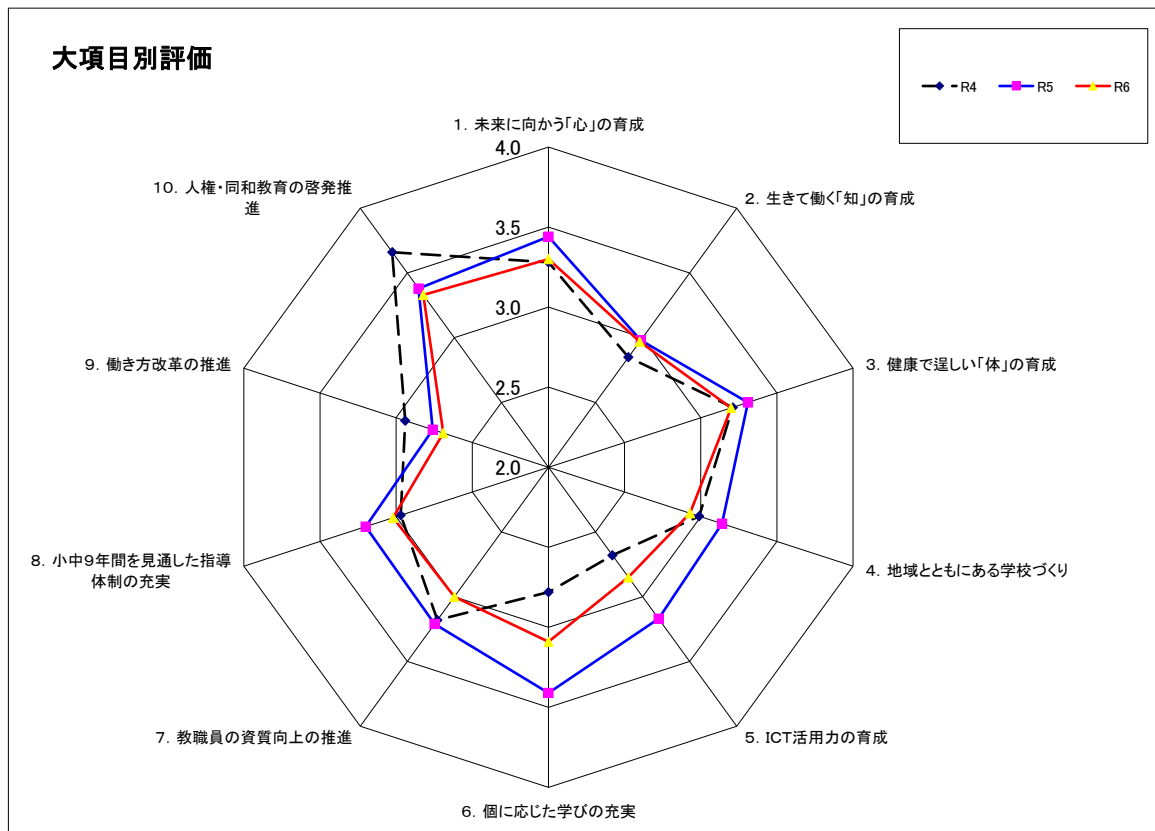
	人権の視点に立った温もりある教育活動	日常的な人権課題について組織的な共有	生徒が自ら解決しようとする力の育成
R4小項目評価	3.61	3.70	3.67
R5小項目評価	3.34	3.34	3.45
<b>R6小項目評価</b>	<b>3.35</b>	<b>3.30</b>	<b>3.35</b>

大項目評価	R4	R5	R6
	3.66	3.38	<b>3.33</b>
	B	B	<b>B</b>

4 ≥ A > 3. 5 ≥ B > 2. 5 ≥ C > 1. 5 ≥ D



### 大項目別評価



大項目	未来に向かう「心」の育成	評価			小郡市立小郡中学校	令和6年度 学校評価報告シート		
		3.31	3.30	B				
小項目		前期	後期		小項目の評価基準(例)	◎改善策		
1	子どもたちの「志」や「自律の心」を育むために、「いただく」(夢や願いをいただき、課題や目標を明らかにする)→「いどむ」(繰り返し目標に挑み、人ともに学びを深める)→「いかす」(学びを振り返り、成果と課題をいかして自ら学びを最適化する)の過程を大切に教育活動を進めている。	3.17	3.17	④	進めている。	◎「いただく」→「いどむ」→「いかす」の三つの過程の把握を徹底する。そのために授業モデルを研究推進委員会を中心に作成し、協議する時間を設定する。また各教科の特性や実態をもとにした焦点化を図り、重点的に取組を進めていくことができるようにする。		
				③	どちらかといえば進めている。			
		B	B	②	あまり進めていない。			
	[担当者]	松島光			①		進めていない。	
	「いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応」について、子どもの声を丁寧に聞き取り、教職員・専門家・保護者等をつないだ組織的な対応を行っている。	3.42	3.43	④	行っている。		◎次年度もSCやSSWと保護者、教職員をつなぐ流れを確実に。特にカウンセリングの実施を行う。SCと教職員の情報意見交流など継続的な取り組みを進める。また、保護者への啓発も計画的に行う。	
				③	どちらかといえば行っている。			
		B	B	②	あまり行っていない。			
	[担当者]	山内杏城			①			行っていない。
	生徒指導の視点(自己決定の場・共感的人間関係の育成・自己存在感の感受・安心、安全な風土の醸成)を生かした授業・指導を行っている。	3.33	3.30	④	行っている。			◎教室環境整備・欠席者の机の中・机上などの気遣い・保障プリントの意義の確認と徹底を校内全体で確認しあう場を設ける。また、体を向けて相手の話を聞いたり、自分の思いを伝える場を設け指示的風土のある授業づくりに努める。
③				どちらかといえば行っている。				
B		B	②	あまり行っていない。				
[担当者]	仲野公美			①	行っていない。			
大項目	生きて働く「知」の育成	前期	後期					
		3.01	2.97	B				
2	社会の変化に対応できる「真の学力」を育むために、「学力向上プラン」を共通実践し、「主体的・対話的で深い学び」による授業を日常化している。	3.08	2.87	④	日常化している。	◎生徒たちが主体的に学習することができるように、スタディ・ログを活用し、前時の振り返りをアウトプットし、本時の見通しをもって授業に、取り組む授業導入を全教科・全職員で行う。		
				③	どちらかといえば日常化している。			
		B	B	②	あまり日常化していない。			
	[担当者]	仲野公美			①		日常化していない。	
	子どもの基礎学力を高め「低位層」の子どもたちを減らすため、習熟・徹底のための日常的・継続的な取組を確実にしている。	3.00	3.13	④	行っている。		◎各種学力テストなどの結果をふまえ、「低位層」にある生徒の学力課題を把握したうえで、子にに応じた指導を行っていく。子どもたちどうしが、自分のわからないところを出し合い、学び合う雰囲気をつくる。タブレットを活用させ、家庭学習の充実を図る。	
				③	どちらかといえば行っている。			
		B	B	②	あまり行っていない。			
	[担当者]	仲野公美			①			行っていない。
	各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、学年の取組等を相互に関連付けた指導を行っている。	2.96	2.91	④	行っている。			◎各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動の年度末の振り返りを丁寧に行い、関連付けることができる内容や資質・能力の整理を行う。整理したものを新年度の年間指導計画の作成時に参考資料として活用し、相互の関連をより深めることができるようにする。
③				どちらかといえば行っている。				
B		B	②	あまり行っていない。				
[担当者]	松島光			①	行っていない。			

大項目	健康で逞しい「体」の育成	評価			小郡市立小郡中学校	令和6年度 学校評価報告シート	
		3.22	3.27	B			
小項目		前期	後期	小項目の評価基準(例)		◎改善策	
3	「体力向上プラン」を共通理解・共通実践し、子どもたちの基礎体力向上や運動への意識づくり・態度づくりに取り組んでいる。	3.21	3.20	④	取り組んでいる。	◎生徒の体力・運動の課題を把握し、関連する教科や部活動における基礎体力向上に向けた取り組みを具体化する。また、体力向上プランを関係職員間で共通理解し、効果的で実践可能な取り組みを検討する。	
				③	どちらかといえば取り組んでいる。		
	B	B	②	あまり取り組んでいない。			
			①	取り組んでいない。			
	子どもたちの「身を守る力」を育むために、地域と連携して「防災」「安全」「健康」をテーマに計画的に取り組んでいる。	3.04	2.91	④	取り組んでいる。		◎校区内の危険箇所について次年度も学団会や地区懇談会で情報を収集する。防災訓練の一つとして避難訓練と合わせて学団別集団下校を実施した。次年度も地域への啓発を含め計画していく。
				③	どちらかといえば取り組んでいる。		
B	B	②	あまり取り組んでいない。				
		①	取り組んでいない。				
生活ノートの取組や学校生活アンケート等を実施し、生徒の生活習慣等を把握し、改善が必要な生徒については、教育相談等で指導をしている。	3.40	3.69	④	取り組んでいる。	◎次年度も生活ノートの取組や生活アンケートを実施していく。学年でクラスの生徒の情報交換を学年会議はもちろん様々な場面・時間を使って詳しく交流していく。		
			③	どちらかといえば取り組んでいる。			
B	A	②	あまり取り組んでいない。				
		①	取り組んでいない。				
〔担当者〕	藤上健一	B	B	④		取り組んでいる。	
				③		どちらかといえば取り組んでいる。	
〔担当者〕	山内壱城	B	B	②	あまり取り組んでいない。		
				①	取り組んでいない。		
〔担当者〕	山内壱城	B	A	④	取り組んでいる。		
				③	どちらかといえば取り組んでいる。		
〔担当者〕	山内壱城	B	A	②	あまり取り組んでいない。		
				①	取り組んでいない。		
大項目	地域とともにある学校づくり	前期	後期				
		3.13	2.97	B			
4	学校運営協議会との信頼関係を基盤に地域・保護者との連携協働による教育活動について協議を深め、教職員間でも情報を共有している。	3.17	3.00	④	共有している。	◎生徒を交えた熟議の場の充実を図る。学校運営協議会委員と連携して、学校や家庭・地域が抱える課題についてわかりやすく教職員に情報提供を行うほか、課題解決に向けた取組の成果も共有していく。	
				③	どちらかといえば共有している。		
	B	B	②	あまり共有していない。			
			①	共有していない。			
	子どもたちの「ふるさと愛」を育むために、地域・校区のよさ(「人・もの・こと」)を生かした体験的な学びをカリキュラムに位置づけて実践している。	2.75	2.70	④	実践している。		◎総合的な学習の時間の年間指導計画の見直しをはかる。例年通りの年間指導計画ではなく、地域のひと・もの・ことをいかにすることができるような授業づくりをすすめる。そのために、市役所や地域の様々な機関等と連携をはかり、地域にあるひと・もの・ことを含めた教材開発・研究を行う。
				③	どちらかといえば実践している。		
B	B	②	あまり実践していない。				
		①	実践していない。				
学校で実施している「ふるさとクリーン活動」の意義や目的を生徒にわかるように説明し、地域行事やボランティア活動に積極的に参加するように促している。	3.47	3.21	④	できている。	◎「小郡中学校ふるさとクリーン活動」を、地域に根差した、より一層充実した取組にしていくために、地域や保護者との連携をこれまで以上に強化する。		
			③	どちらかといえばできている。			
B	B	②	あまりできていない。				
		①	できていない。				
〔担当者〕	田中ゆかり	B	B	④		できている。	
				③		どちらかといえばできている。	
〔担当者〕	田中ゆかり	B	B	②	あまりできていない。		
				①	できていない。		

大項目	ICT活用力の育成	評価			小郡市立小郡中学校	令和6年度 学校評価報告シート	
		2.97	3.03	B			
小項目		前期	後期	小項目の評価基準(例)		◎改善策	
5	タブレットを活用して学習を行っている。	2.74	2.63	④	週2回以上行っている。	◎個々の教職員で活用頻度に差があった。ロイロノートの使用方法やスタディ・ログの活用方法などの研修を継続して行っていく。	
	[担当者] 佐藤拓也	B	B	③	週1回程度行っている。		
	教育課程に位置づけた情報モラル教育を計画的に行っている。	3.19	2.93	②	月2～3回くらい行っている。		
	[担当者] 佐藤拓也	B	B	①	月1回程度行っている。		
	キーボードのローマ字打ちでのタイピングが学年の目標レベルに達している。(1分間に打てる文字数 70文字以上)	3.00	3.83	④	学級の8割程度が目標レベルに達している。	◎昨年度から実施しているタイピングテストは、生徒の意欲を喚起する上で有効であった。また、今年度より練習期間を設けたことでタイピング数の向上につながった。次年度も継続して行っていく。	
	[担当者] 佐藤拓也	B	A	③	学級の6割程度が目標レベルに達している。		
	前時の振り返りや本時のまとめにおいて、生徒の主体性を伸ばすためにタブレットを活用することを意識している。	2.96	2.74	②	学級の4割程度が目標レベルに達している。		
	[担当者] 佐藤拓也	B	B	①	学級の2割以下が目標レベルに達している。		
	大項目		前期	後期			
	個に応じた学びの充実		3.11	3.20	B		
	6	学力保障・個性伸長のため、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、習熟の程度に応じた学習、課題選択学習など、「個に応じた学び」(個別最適な学び)を一人一人の子どもの特性や教育的ニーズ、興味・関心に応じ計画的に行っている。	3.13	3.13	④	行っている。	◎生徒の学力、学習環境、授業アンケート等から実態や課題を把握を丁寧に行う。また、生徒の特性や興味・関心に関する理解に努め、「個別最適な学び」につながる取組の在り方について検討する。
		[担当者] 今熊尚紀	B	B	③	どちらかといえば行っている。	
特別支援教育に関し、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成し、特別支援教育コーディネーターを中心に、保護者と教職員、専門機関をつないだ丁寧な取組を組織的に行っている。		3.38	3.57	②	あまり行っていない。		
[担当者] 今熊尚紀		B	A	①	行っていない。		
補助簿等を活用し、子どものつまづきや習熟の程度に応じた学習指導を行うとともに、自身の学習指導を評価し、改善を図るなど、指導と評価の一体化を図っている。		2.83	2.91	④	行っている。	◎様々なテストの結果を丁寧に分析し、生徒のつまづきを各教科や各学年で共有し、今後の方向性を話し合う時間を設定する。時間の確保が行えるように、月行事や時間割の工夫を進めていく。また前年度の実態との比較を行い、今年度の成果と課題を職員で把握する時間も設定する。	
[担当者] 松島光		B	B	③	どちらかといえば行っている。		
				②	あまり行っていない。		
				①	行っていない。		

大項目	教職員の資質向上の推進	評価			小郡市立小郡中学校	令和6年度 学校評価報告シート	
		3.13	3.03	B			
小項目		前期	後期	小項目の評価基準(例)		◎改善策	
7	学力調査結果等をもとに指導上の課題を全教職員で協議・共有して、日常授業の改善を行っている。 [担当者] 仲野公美	2.75	2.91	④ 行っている。	◎校内研修推進委員会を中心に、各種学力調査や実態調査から見えてきた課題の改善策を具体化し、全教職員への情報提供を行うとともに、意見交流を行う。		
				③ どちらかといえば行っている。			
		B	B	② あまり行っていない。			
	組織的な共同体制のもとに研修を行い、ICT教育をはじめとする教育動向への理解を深め、教職員としての資質を高めている。 [担当者] 仲野公美	3.25	2.91	④ 高めている。		◎校内研修推進委員会を中心に、最新の教育動向に関する情報収集・及び情報共有を行い、ICTを活用した授業の実践を充実させるための研修を行う。導入・展開・終末の3段階の場面でICTを活用し、子どもたちが主体的にタブレットを活用しながら意欲的に学べる授業スタイルを構築する。	
				③ どちらかといえば高めている。			
		B	B	② あまり高めていない。			
	校内研修が計画的に位置付けられ、組織的な人材育成を図っている。 [担当者] 仲野公美	3.38	3.27	④ 図っている。			◎こどもの実態に応じた校内研修を計画的に位置づけ、目的意識をもって研修に取り組むことができるようにする。また、組織的な人材育成を行うために、ミニ研修会などを行い、互いに共有しあう場を設ける。OJTによる研修の機会を増やす。
				③ どちらかといえば図っている。			
		B	B	② あまり図っていない。			
		① 図っていない。					
大項目	小中9年間を見通した指導体制の充実	前期	後期				
		3.07	3.02	B			
8	小中学校間で児童生徒の学力実態・生活実態・家庭状況等を共通理解し、統一した方針や計画を基に授業改善や生徒指導を行っている。 [担当者] 篠原有紀	2.96	2.87	④ 行っている。	◎今後も継続的に小中学校間で児童生徒の実態や家庭状況などについて共通理解を図る場を設定する。また、指導方法や指導内容について効果が見られる取組を共有する。		
				③ どちらかといえば行っている。			
		B	B	② あまり行っていない。			
	(中学校)小学校での学習・生活の状況を踏まえた指導の工夫を行っている。 [担当者] 篠原有紀	3.05	3.05	④ あてはまる。		◎小学校からの情報をもとに、生徒の学習や生活状況の変化を的確に見取り、生徒の実態に応じた効果的な指導方法を工夫する。	
				③ どちらかといえばあてはまる。			
		B	B	② あまりあてはまらない。			
	特別な支援を必要とする生徒について、中1ギャップ解消のための小中連携を図っている。 [担当者] 田中ゆかり	3.21	3.13	④ 取り組んでいる。			◎「人権フォーラム」や学校行事の際に、児童生徒がよりよい交流を図る機会を設ける。そのために、事前の準備・情報交換の場を設定し、連携を深める。
				③ どちらかといえば取り組んでいる。			
		B	B	② あまり取り組んでいない。			
		① 取り組んでいない。					



大項目	働き方改革の推進	評価			小郡市立小郡中学校	令和6年度 学校評価報告シート	
		2.67	2.68	B			
小項目		前期	後期	小項目の評価基準(例)		◎改善策	
9	効率的・協働的な業務遂行に努め、時間外勤務の削減に努めている。	2.83	2.74	④	そう思う。	◎それぞれの教職員が年間の見通しを持って効率的な業務遂行に努める。各分掌の担当職員が協働して業務にあたり、時間外勤務削減に努める。	
		B	B	③	どちらかといえばそう思う。		
	[担当者]	牧草さおり			②		あまり思わない。
					①		思わない。
	勤務の状況や業務改善の効果的な方策について教職員間で組織的に協議し、共通理解している。	2.64	2.62	④	そう思う。		◎校務や諸活動の削減や取捨選択について検討し、働き方改革の意識を高める。
		B	B	③	どちらかといえばそう思う。		
[担当者]	牧草さおり			②	あまり思わない。		
				①	思わない。		
月2回の定時退校に取り組み、計画的に年休を取得している。また、会議研修および、分掌部会の時間短縮に努めている。	2.54	2.70	④	取り組んでいる。	◎定時退校の位置づけを継続していく。教務と連携して、時間割や会議などを調整する。計画的な年休取得の体制づくりを行う。		
	B	B	③	どちらかといえば取り組んでいる。			
[担当者]	牧草さおり			②		あまり取り組んでいない。	
				①		取り組んでいない。	
大項目	人権・同和教育の啓発推進	前期	後期				
		3.31	3.33	B			
10	「つながる心」や「関わり合い」を大事にする人権の視点に立った温もりある教育活動を学校教育全体で進めている。	3.38	3.35	④	進めている。	◎各教育活動の「目的」に人権の視点を明確に示すことを全職員で確認するとともに、人権・同和教育に関する校内研の中で「つながる」や「関わり合い」を意識した実践を全職員で交流する場を設定する。	
		B	B	③	どちらかといえば進めている。		
	[担当者]	篠原有紀			②		あまり進めていない。
					①		進めていない。
	ICT教育を進めていく中で生じてくる人権課題をはじめ、子どもを取り巻く日常的な人権課題について校内で組織的に共有している。	3.25	3.30	④	共有している。		◎情報モラルに関する学習を含め、子どもを取り巻く日常的な人権課題についての情報収集に努める。全職員の共通理解を図るとともに、丁寧な情報交換ができる体制をつくっていく。
		B	B	③	どちらかといえば共有している。		
[担当者]	佐藤拓也			②	あまり進めていない。		
				①	共有していない。		
生徒が日常生活における人権侵害や差別的事象等人権に関わる問題に気づき、自ら解決しようとする力を育てている。	3.29	3.35	④	育てている。	◎現在の人権問題に関する情報収集に努め、教職員への情報提供を行う。また、人権学習計画に人権課題に関する事例を意図的に位置づけ、学習内容の一層の充実を図る。		
	B	B	③	どちらかといえば育てている。			
[担当者]	篠原有紀			②		あまり育てていない。	
				①		育てていない。	